

作成日 2009年05月26日  
改定日 2011年07月25日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 クサレス顆粒水和剤  
会社名 ユーピーエルジャパン株式会社  
住所 〒107-6030 東京都港区赤坂一丁目12番32号  
担当部門 開発登録部  
電話番号 03-6230-1071 FAX番号 03-6230-1073  
メールアドレス upl\_japan@uniphos.com  
緊急連絡先 ユーピーエルジャパン株式会社 開発登録部  
電話番号 03-6230-1071  
整理番号 0401

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	眼損傷／眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分1（呼吸器系）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分1（呼吸器系、腎臓）
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分3

\*記載がないものは、分類対象外または分類できない

#### GHSラベル要素：

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報：眼刺激

発がんのおそれ  
臓器（呼吸器系）の障害  
長期にわたるまたは反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害  
水生生物に有害

注意書き：

- [予防策] 使用前に取扱い説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
指定された個人用保護具を使用すること。  
取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
環境への放出を避けること
- [対応] 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用  
していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。  
気分が悪い時は、医師の診断／手当てをうけること。  
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。
- [保管] 施錠して保管すること。
- [廃棄] 内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	：混合物		
化学名又は一般名	：ナプロパミド (2-( $\alpha$ -ナフトキ)-N,N-ジエチルピペオアミド)		
成分	：ナプロパミド	結晶質—石英	物質微粉・界面活性剤等
含有量	： 51%	>0.37%	<48%
分子式	： C <sub>17</sub> H <sub>21</sub> N <sub>02</sub>	SiO <sub>2</sub>	—
官報公示整理番号			
化審法	(9)-2333	(1)-548	—
安衛法	5-359	—	
CAS No.	15299-99-7	14808-60-7	
危険有害成分	： 該当成分なし		

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。気分が悪い時は、  
医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせる。付着した製品を拭い  
取るか、あるいは水で洗い流してから石鹼を使ってよく洗い落とす。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。
- 目に入った場合 : 直ちに清潔な水で最低 15 分洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。

洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行き渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の手当を受ける。可能であれば、指を咽喉に差し込んで吐き出させる。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。毛布などで保温して安静に保つ。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末、泡沫、炭酸ガス

使ってはならない消火剤 : 特になし

火災時の特定危険有害性 : 製品中に N を含有しているため、火災時に刺激性、もしくは有毒なヒュームを放出する。

特定の消火方法 : 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。容器、周囲の設備などに散水して冷却する。消火活動は、可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。燃焼又は高温により有害なガス（一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、アンモニア）が発生するので、必ず呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際は保護具を着用し、接触および粉塵の吸入を避ける。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。

除去方法 : 漏出したものをすくい取り、又は掃き集めて紙袋又はドラムなどに回収する。下水溝、表流水、地下水に流してはいけない。

## 7. 取扱及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 電気機器類は必要に応じ防爆構造の物を用い、静電気対策も行う。

局所排気・全体換気 : 局所排気内、または全体換気設備のある場所で取扱う。

注意事項 : 吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な防護具を着用する。

取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。

保管

適切な保管条件 : 食物、飼料等と離し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。密閉した容器に保管する。

無関係者、子供の手の届かないところに施錠して保管する。

安全な容器包装材料 : クラフト袋

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定  
設備対策 : 取扱い場所には、全体換気装置を設置する。  
できるだけ密閉された装置、危機、又は局所排気装置を使用する。  
取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

<ナプロパミド>

日本産業衛生学会 (2001) : 未設定

ACGIH (2001) : 未設定

OSHA (2001) : 未設定

<クレール>

日本産業衛生学会 (2001) : 未設定

ACGIH (2001) : 呼吸性粉塵 2mg/m<sup>3</sup>

OSHA (2001) : Total dust 15mg/m<sup>3</sup>

保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク

手の保護具 : ゴム手袋

眼の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル、保護面

皮膚及び身体の保護具 : 安全帽、保護衣、保護前掛け、保護長靴

## 9. 物理的および化学的性質

外観

物理的状态 : 個体

形状 : 顆粒

色 : 淡褐色

臭い : 芳香臭

pH : 7-9 (10%水懸濁液) <sup>1)</sup>

引火点 : 不燃性

発火点 : 不燃性

爆発特性 : 不燃性

密度 (比重) : 0.6 (見掛け)

溶解性 : 水に懸濁

<本銘柄に関する情報が少ないため、ナプロパミド原体の情報を記載する>

引火点 : 69.5°C

爆発特性 : 知見なし

蒸気圧 : 1.72 × 10<sup>-5</sup>Pa (25°C) <sup>2)</sup>

蒸気密度 : 5.8 × 10<sup>-5</sup>mg/L (25°C) <sup>2)</sup>

密度 (比重) : 1.16 <sup>1)</sup>

溶解性 : 20°Cの水に 73mg/L 溶解する。

オクタノール/水分配係数 : 3.369 <sup>1)</sup>

## 1 0. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
危険有害可能性	: 酸化剤と反応する。
混触危険物質	: 酸化剤との共存を避ける。
危険有害な分解性生物	: 窒素酸化物、アンモニア、一酸化炭素、二酸化炭素

## 1 1. 有害性情報

急毒性	: ラット (雄、雌) 経口 LD <sub>50</sub> >5,000mg/kg <sup>1)</sup>
	: マウス (雄、雌) 経口 LD <sub>50</sub> >5,000mg/kg <sup>1)</sup>
	: ラット (雄、雌) 経皮 LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg <sup>1)</sup>
局所効果	
眼刺激性	: ウサギ 軽度の刺激性 <sup>1)</sup>
皮膚刺激性	: ウサギ 軽度の刺激性 <sup>1)</sup>
感作性	: モルモット なし <sup>1)</sup>
発がん性	: 区分1の成分(結晶質—石英)を含むため、 混合物として区分1に分類される。
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: 区分1(呼吸器系)の成分(結晶質—石英)を含むため 混合物として区分1に分類される。
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	: 区分1(呼吸器系、腎臓)の成分(結晶質—石英)を含むため、 混合物として区分1に分類される。

<本銘柄に関する情報が少ないため、ナプロパミド原体の情報を記載する>

急毒性	: ラット (雄、雌) 経口 LD <sub>50</sub> >5,000mg/kg <sup>1)</sup>
	: マガモ 経口 LD <sub>50</sub> >4,640mg/kg <sup>1)</sup>
	: ウサギ (雄、雌) 経皮 LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg <sup>1)</sup>
	: ウズラ 混餌 LC <sub>50</sub> 56,000ppm <sup>1)</sup>
	: マガモ 混餌 LC <sub>50</sub> >10,000ppm <sup>1)</sup>
変異原性	: DNA 修復試験 枯草菌 陰性 <sup>1)</sup> Ames 試験 陰性 <sup>1)</sup> 宿主経由法 マウス 陰性 <sup>1)</sup> 細胞遺伝学的試験 マウスリンパ腺細胞 陰性 <sup>1)</sup>
催奇形性	: ラット 経口 催奇形性無し <sup>1)</sup> ウサギ 経口 催奇形性無し <sup>1)</sup>
生殖毒性	: ラット 混餌 (102W) NOEL 30mg/kg <sup>1)</sup> マウス 混餌 (102W) NOEL 雄雌 30mg/kg <sup>1)</sup>

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性	: コイ LC <sub>50</sub> (96H) 26.0mg/L オオミジンコ LC <sub>50</sub> (48H) 20.7 mg/L
------	---

緑藻

ErC<sub>50</sub> (0-72H) 8.69mg/L

<本銘柄に関する情報が少ないため、ナプロパミド原体の情報を記載する>

残留性／分解性 : 酸・アルカリ ; pH10 および 40°Cの条件で 2 ヶ月間殆ど変化しない。  
土壌 ; 砂壤土および埴土の方が分解は早く、その主因は日光および微生物である。<sup>1)</sup>  
光分解 ; 半減期 57min (計算値) <sup>2)</sup>  
生体蓄積性 : BCF 77 (計算値) <sup>2)</sup>

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。  
焼却処理を行う場合、完全に分解させるために燃焼室の温度を 800°C以上に保持する。  
汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 1 4. 輸送上の注意

国連分類 : 国連定義の危険物に該当しない。  
輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器に異常のないことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

### 1 5. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第 22294 号  
労働安全衛生法 : 通知対象物質 結晶質一石英 (シリカ)

### 1 6. その他の情報

参考文献  
1) 自社データ  
2) HSDB : Hazardous Substances Data Bank (NLM, 2001)

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。  
又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (通話料のみ相談者負担)	医療機関専用有料電話 (一件につき2,000円)
大阪 (365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9時～21時対応)	029-852-9999	029-851-9999